



Kaiho. anzen

発行：大日本土木安全協力会
東京都新宿区西新宿6-16-6
☎(03)5326-3772(直通)

令和2年4月

No.133

全国安全週間

2020 7/1~7 準備期間 6/1~30



小さなヒヤリは危険の合図
今すぐ改善 ゼロ災職場

最優秀賞 鈴木工業(株) 岩瀬 仁 作品

最優秀賞 社員 日田 雄己 作品

大日本土木(株)・大日本土木安全協力会



2020年度安全衛生管理計画推進に向けて

大日本土木安全協力会 名誉会長
代表取締役専務執行役員 佐溝 時彦

ご安全に！

安全協力会会員の皆様には、平素より当社の土木・建築などの事業推進に格別のご支援とご協力を賜り、また安全協力会の活動においても、労働災害防止に格別のご尽力をいただいておりますことを篤く御礼申し上げます。

当社が掲げる「環境・安全・品質方針」は、前年度に引き続いて、『人間尊重を理念とし、社会的信頼の維持・向上を図るとともに、当社に関わるすべての利害関係者のニーズと期待の変化を認識し「建設」という「ものづくり」を通じて、会社の永続的な発展と企業未来の創造を実現する』としています。

2020年度の安全衛生管理計画は、安全目標は、昨年度に引き続き「死亡・重篤・公衆災害 ゼロ」を掲げています。特に、墜落防止設備の設置確認や墜落制止用器具の確実な使用等による「墜落転落災害の防止」活動に力をいれて取り組みます。前年度は墜落転落による死亡事故の連鎖には歯止めがかかりましたが、残念ながら開口部や低層ステージからの墜落転落による災害が発生いたしました。今年度こそ墜落転落災害の撲滅に向け、強い意志と執念をもって全社で取り組みます。このほか、建設機械の後退禁止や立入禁止・接触防止措置の徹底等による「建設機械関連災害防止」に取り組みます。当社と安全協力会会員の皆様とともに力をあわせて労働災害防止活動を推進していきしょう。

衛生目標についても、前年度と同様「疾病労災 ゼロ」を掲げています。ワーク・ライフ・バランスの実現を通して「働き方改革の推進」に取り組みます。

さて、当社ならびに安全協力会会員各社の主戦場である建設市場の状況を見てみると、(一財)建設経済研究所のレポートによれば、昨年度の建設投資は、前年度比2.1%アップの62.14兆円、さらに2020年度の建設投資は、前年度比1.8%増の63.27兆円と比較的高水準で推移していく見通しです。ただし、COVID-19(いわゆる新型コロナウイルス)国内外でのまん延の影響により、特に民間分野でどの程度下げ圧力がかかるかは予断を許さない状況にあります。また、特に建築分野で、競争が厳しさを増す兆候が見られるようになりました。どんなに厳しい市場環境下でも、当社は競争に負けないようにしなければなりません。そのためにも、会員各社の皆様と大日本土木が手を携え、QCDS Eすべての側面で満足のいく「確かなものづくり」を実践して、お客様に選ばれる、喜ばれる建設企業集団でなければならないと思います。ともに成長していきましょう。

さらに、建設キャリアアップシステムやグリーンサイトの活用・定着をすすめていきます。いずれの仕組みも私どもと安全協力会各社の生産性向上に必ず寄与するものと確信しています。

結びになりますが、今年こそ皆で力をあわせてゼロ災を達成しましょう。年度当初にあたり、会員各社の益々のご繁栄を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会
本部長 佐々木 邦衛

ご安全に！

新事業年度に当たり、安全協力会会員の皆様には、日頃から格別なるご支援とご協力を賜り、本部及び各支部の事業計画と労働災害防止活動が予定通り運営できておりますこと、あらためて心より御礼と敬意表する次第です。今年度も変わらぬご支援とご協力の程、宜しく願いを申し上げます。

昨年度の世の中の動きを振り返りますと、国内外を問わず政治・経済共に一抹の不安を感じつつも、ご存じの通り、それにも増して中国に端を発した「新型コロナウイルス」の感染が一気に世界を駆け巡り、それによる感染者や死亡者が想像を絶する勢いで発生し、政治・経済は勿論のこと人々の生活や行動までも制限される「非常事態宣言」があちこちで飛び出すまでに至りました。また今夏開催される予定の「東京オリンピック・パラリンピック」の開催が延期となり非常に気がかりなところです。一日も早くワクチンや防衛方法などの開発が成されて収束に向かうことを思いつつ、改めて安全で安心のできる世の中を取り戻せることを切に願うところです。

我々の建設業界も多分に漏れず、大なり小なり「新型コロナウイルス」の影響を受けて製品の入荷の遅れなど作業工程に遅れなどが生じているようですし、今後も人手不足による高年齢者、未経験未熟練者や外国人労働者の参入が当然増えるものと考えられます。そんな中であって、是非実効性のある安全衛生管理をして頂きまして、一人たりとも感染者を出すことなく、作業所が止まることのなきようご協力の程、安全協力会会員の皆様に切にお願いを申し上げます。

ご承知の通り、昨年度の安全成績は一昨年より大幅に件数的には減少したものの、やはり残念ながら例年並みに起きているのが現状です。安全協力会本部として責任を痛感している所です。やはり災害の原因のほとんどが「ヒューマンエラー」と言われるものです。一人一人がもう一度その原因を認識し、全員参加の先取り安全の下、今年こそ無事故無災害の立派な成績が納められますよう安全協力会会員各社の皆様方のご支援とご協力を是非とも宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、大日本土木株式会社の益々のご繁栄と安全協力会会員各社のご発展、「新型コロナウイルス」が早期に収束しますよう無事故無災害と合わせご祈念し、簡単ではございますが新事業年度の挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会
東京支部長 藤澤 徹

ご安全に！

新事業年度を迎え、まずは安全協力会会員の皆様には、大日本土木安全協力会東京支部の事業計画ならびに労働災害防止活動の運営に、日頃から格別なご支援とご協力を賜っておりますことを心より御礼と敬意表しますと共に、今年度も宜しくご支援とご協力を賜れますよう改めてお願い申し上げます。

昨年度から現在に至りまして、昨年末、中国で発見された新型コロナウイルスが全世界に感染し、感染防止対策として日本におきましても、学校の休校、イベントの中止、テーマパークの閉園等、様々な規制が出され、経済活動にも大きな影響を及ぼしております。現在の日本の状況は、爆発的な感染拡大には進んでおらず、一定程度、持ちこたえているのではないかとされておりますが、この先の不透明な状況がしばらくは継続すると考えられます。協力会会員の皆様には、感染拡大に繋がらない環境作り、自分自身が感染しないための手洗いを始め、日頃の小さな防止活動のご指導を切によろしくお願いを申し上げます。

建設業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピックに伴うインフラ整備工事に加え、首都直下型地震に備えた防災、減災対策工事など工事量の増加が見込まれておりますが、現在の業界では、技能労働者の不足、担い手の確保、外国人労働者の参入といった課題が示されております。また、社会環境の変化から週休2日、時間外労働と言った「働き方改革」への対応も図っていかねばなりません。この相反する課題は作業所にしわ寄せが来ており、その結果、労働災害の増加が懸念される状況であります。協力会会員の皆様には、実効性のある安全衛生管理を実施して頂けますようお願いを申し上げます。

さて、令和元年度の東京支部における安全成績は、5件の災害が発生いたしました。休業4日以上が2件、不休災害が3件でありました。これら災害の原因はヒューマンエラーの要素が大きい状況であります。もう一度全員が再確認を頂き、今年度こそ無災害の成績が上げられるよう会員の皆様方のご支援とご協力を是非とも宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、新事業年度を迎え、会員の皆様におかれましては、より一層の自発的な安全衛生活動を実施されることにより、大日本土木株式会社ならびに会員皆様の無災害達成をご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会
名古屋支部長 森屋 泰則

ご安全に！

令和2年度を迎えるにあたり名古屋支部長として一言ご挨拶申し上げます。

名古屋支部会員の皆様には、事業運営及び労働災害防止活動に日頃から格別のご支援を頂いております事、ここに厚く敬意を表しますと共に本年度も引き続きのご協力の程をお願い申し上げます。

新元号でスタートした令和元年の建設業は活気のある一年で有ったと感じております。新国立競技場を筆頭にオリンピック・パラリンピック開催の為の大型施設が竣工し、それに伴うホテル・商業施設の建設やインフラ整備がゴール手前まで来た一年でした。名古屋地区に於いても、リニア中央新幹線や東海環状自動車道関連工事が計画的に発注され、東京・大阪地区にも負けないぐらいの活気が有ったと思います。令和二年度も継続して活気のある一年で有ることを願っておりましたが2月になって形勢が一変した気がします。新型コロナウイルスの影響で、営業・企業活動の自粛や消費の低迷、海外往来の制限が今後の設備投資やインフラ整備に大きくストップをかける雰囲気になってきました。オリンピック・パラリンピックも延期が決定したとの報道を聞きますと不安を隠せないのが本音で有ります。一日でも早い事態の収束と今までの生活に戻れることを願いたいものです。

そんな中でも我々は現状の課題に取り組んでいかねばなりません。その中でも既存の技術者・技能労働者の確保や若年就労者・外国人就労者の教育は急務で有ります。そして建設業の継続的な発展に尽力し、若年層・外国人にとって魅力ある建設業にする必要があります。さらに将来が混沌としていく中でも長時間労働の是正や賃金水準の確保、各種社会保険・福利厚生の実施に力を入れる必要があると考えます。当然「安全衛生」は保障されねばなりません。振り返ると不安定な時代は「安全衛生」が軽視されてきたと思います。しかしながらもし今後、そのような時代を迎えたとしても過去の過ちを繰り返すのではなく、名古屋支部としましても「安全衛生」に対して最大限の努力と叡智を注ぐことをここに宣言したいと思います。

最後になりますが昨年度の名古屋支部の労働災害は4件でありました。一昨年の15件から減少した要因は大日本土木株式会社様の本気と会員各位様の強い決意と行動力があってこそ成しえた結果だと思っております。具体的には労働災害防止プロジェクト2019の実施や事業主パトロールの充実が挙げられるのではないのでしょうか。本年度も会員各位のトップが率先して労働災害防止プロジェクト2020や事業主パトロールに参加して「ゼロ災」を達成したいと強く思いますので改めて会員皆様のご指導・ご協力をお願いして新年度のご挨拶と致します。

ご安全に！



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会
大阪支部長 山川 数也

ご安全に！

新事業年度を迎えるに当たり、安全協力会大阪支部会員の皆様には、日頃から格別にご支援を賜り、ここに厚く御礼と敬意を表すと共に、今年度もご協力の程宜しくお願い申し上げます。

平成から令和へと時代が移り変わった昨年を振り返りますと、「観測史上初」の自然災害が頻発しました。大規模地震では、1月に熊本地方、2月に北海道胆振地方を震源とする最大震度6弱、6月には山形県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生しました。また、8月には前線を伴う大雨の影響で佐賀、福岡、長崎で「観測史上初」となる雨量を観測し、9月には千葉県に台風15号が襲来、関東南部で93万戸が停電、10月には台風19号が首都圏に上陸し関東、甲信、東北地方で「観測史上初」となる記録的な大雨で大きな被害が発生しました。被害に遭われました方々にお悔やみとお見舞い申し上げます。

現在の建設業界においては、「建設バブル」と言われるほど高い建設需要が続いています。今後見込まれる大型案件は、2025年大阪万博、2027年リニア中央新幹線開業、都市再開発、耐震防災工事、また、高度成長期に大量に整備されたインフラ整備が老朽化してきており、修繕改修の時期に差し掛かっているものと思われます。このように高い需要が見込まれる中、建設業界で一番の問題になってくるのは、やはり労働力の確保です。労働者の高齢化と減少が進む現在、人材確保のための「働き方改革」「女性の活躍促進」「外国人技術者の育成」また労働生産性向上のための「IT化の導入」は必要不可欠となっています。

2019年度の大阪支部を振り返って見ますと、災害の発生は、10件となっています。4日以上休業災害は3件でしたが、2019年度がスタートした時に、墜落・転落災害を発生させてはならないと宣言したにもかかわらず、残念ながら2件の墜落・転落災害が発生致しました。これらの災害の背景には、労働人口の高齢化、急速な世代交代の進行による現場力の低下、若年層の危険に対する認識の希薄化、安全衛生活動の低下が考えられると思います。今年度は、労働災害防止プロジェクト2020の遂行、法令・規則・社内基準に即した作業所ルールの遵守、ヒヤリハット運動の実施、職長会活動の充実により安全で災害の無い、安心して働ける職場環境を実現する為に、労働災害防止活動に取り組んで参りたいと思います。

結びになりますが、新事業年度を迎え、会員の皆様におかれましては、より一層の自主的な安全衛生活動を実施させることにより、大日本土木株式会社並びに会員皆様の無災害達成、社業の益々のご繁栄、ご健勝とご多幸を祈念致しまして新事業年度の挨拶とさせていただきます。

ご安全に！

作業所における安全衛生管理のための重点管理事項具体的な内容

作業所は、元方事業者としての統括管理義務を遂行する

- 1) 作業所長の確実な統括管理の遂行
 - ① 労働安全衛生法、社内基準に則した作業所ルール の 確立と周知徹底
 - ② 安全管理の3原則（整理整頓・事前打合・現場点検）の推進
 - ③ 指定危険作業、予定外・非定常作業時における事前打ち合わせの徹底
 - ④ 作業手順書周知会の指導確認
 - ⑤ 建設キャリアアップシステム、グリーンサイトを活用した労務管理
- 2) 墜落・転落災害防止
 - ① 足場、開口部、作業床（端部）からの墜落防止設備の先行設置確認
 - ② 開口部・スラブ端部の養生計画、実施状況の確認
 - ③ 足場管理体制図の確実な運用
 - ④ 墜落制止用器具の適切な着装と確実な使用
- 3) 建設機械関連災害防止
 - ① 立入禁止、接触防止措置の確認
（重機作業計画による機種 の 選定・設置地盤の事前確認・資格の確認、指揮命令系統の明確化）
 - ② 「バックホウ作業においては原則後退禁止」、「それ以外の重機作業では誘導合図なしでバックしない」の周知徹底
 - ③ 重機作業における死角体験教育・誘導訓練教育等の実施
- 4) 崩壊・倒壊災害防止
 - ① 緊急・異常時体制の確立及び教育・訓練の実施
（土止め支保工、型枠支保工組立・解体作業）
 - ② 地盤の事前調査、掘削法面作業は作業開始前点検の励行
- 5) 公衆災害等防止
 - ① 周辺状況（地盤、埋設物、架空線、近接構造物、飛来・落下物等）の事前調査と災害防止対策の作成・実施
 - ② 第三者災害防止対策の実施状況確認（作業区画境界、特に出入り口）
 - ③ 交通事故防止のための指導・確認
- 6) ヒューマンエラー、不安全行動に起因する災害防止
 - ① 6S運動「整理・整頓・清潔・清掃・しつけ・しつこく」の推進
 - ② ヒヤリハットへの迅速な対応と情報共有による労働災害要因の排除
 - ・作業手順の改善
 - ・安全設備の充実
 - ・見える化

協力会社の自主管理能力の向上促進

- 1) 事業者責任の遂行
 - ①作業所安全衛生活動の積極的参加
 - ②作業所で決められたルール、安全指示の順守
 - ③当該作業所に合致した確実な送り出し教育の実施

- 2) 安全施工サイクル活動の展開
 - ①KYミーティングにおける安全唱和の実施
 - ②不安全行動排除のため、一声かけ運動、一人KY、現地KY、ヒヤリハット、グーパー運動の積極的推進（コミュニケーションの充実）
 - ③保護具の完全着装の実施（ルールを守らない者に対する再教育の実施）
 - ④指定危険作業の事前打合せの実施

- 3) リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）を取り入れた安全作業手順の作成・周知（特に、指定危険作業）

- 4) 非定常・予定外作業（作業内容変更時等）の教育等安全管理の徹底

- 5) 再下請負人の管理
 - ①再下請負人の適正な選定、単独作業にならない配置と管理指導（指示伝達事項の確実な周知徹底）
 - ②二次以降協力会社の安全衛生・環境管理協議会の参加
 - ③社会保険未加入事業者の排除

- 6) 職長会の充実

- 7) 労災上積み保険の加入促進

- 8) 安全協力会、パートナー会の活動推進

2020年度 環境安全衛生行事計画表

(2020. 4. 1～2021. 3. 31)

所属 月	本 社	支 社 ・ 支 店	作 業 所
4	安全祈願 春の全国交通安全運動(4/6～15) 本社安全衛生委員会 本社品質保証・環境保全委員会	安全祈願 春の全国交通安全運動(4/6～15) 支社・支店安全衛生委員会(毎月) 支社・支店品質保証・環境保全委員会	安全祈願 春の全国交通安全運動(4/6～15)
5			
6	全国安全週間準備期間(6/1～30) 日建連 災害防止対策特別活動(6/1～30) 環境月間(6/1～30) 安全衛生大会 中日本支社 (6/15) 西日本支社 (6/18) 東日本支社・海外支店 (6/19)	全国安全週間準備期間(6/1～30) 日建連 災害防止対策特別活動(6/1～30) 環境月間(6/1～30) 安全衛生大会 中日本支社 (6/15) 西日本支社 (6/18) 東日本支社・海外支店 (6/19)	全国安全週間準備期間(6/1～30) 日建連 災害防止対策特別活動(6/1～30) 環境月間(6/1～30) 安全衛生大会 中日本支社 (6/15) 西日本支社 (6/18) 東日本支社・海外支店 (6/19)
7	全国安全週間(7/1～7)	全国安全週間(7/1～7)	全国安全週間(7/1～7)
8	電気使用安全月間(8/1～31)	電気使用安全月間(8/1～31)	電気使用安全月間(8/1～31)
9	全国労働衛生週間準備期間(9/1～30) 防災の日(9/1) 全国建設業労働災害防止大会(仙台)9/24～25 秋の全国交通安全運動(9/21～30)	全国労働衛生週間準備期間(9/1～30) 防災の日(9/1) 全国建設業労働災害防止大会(仙台)9/24～25 秋の全国交通安全運動(9/21～30)	全国労働衛生週間準備期間(9/1～30) 防災の日(9/1) 全国建設業労働災害防止大会(仙台)9/24～25 秋の全国交通安全運動(9/21～30)
10	全国労働衛生週間(10/1～7) 3R推進月間(10/1～10/31) 本社安全衛生委員会 本社品質保証・環境保全委員会	全国労働衛生週間(10/1～7) 3R推進月間(10/1～10/31)	全国労働衛生週間(10/1～7) 3R推進月間(10/1～10/31)
11	秋の全国火災予防運動(11/9～15)	秋の全国火災予防運動(11/9～15)	秋の全国火災予防運動(11/9～15)
12	年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15) 地球温暖化防止月間(12/1～12/31)	年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15) 地球温暖化防止月間(12/1～12/31)	年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15) 地球温暖化防止月間(12/1～12/31)
1	安全祈願 年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)	安全祈願 年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15) 支社・支店コスモスMR	安全祈願 年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)
2	本社安全衛生委員会 本社品質保証・環境保全委員会 社長MR		
3	年度末労働災害防止強調月間(3/1～31) 春の全国火災予防運動(3/1～7)	年度末労働災害防止強調月間(3/1～31) 春の全国火災予防運動(3/1～7)	年度末労働災害防止強調月間(3/1～31) 春の全国火災予防運動(3/1～7)
随時	本社安全衛生パトロール 社員教育・健康診断 安全論文・標語等募集 社外研修、渉外業務	安全衛生委員会(毎月1回以上) 品質保証・環境保全委員会(毎年1回以上) 安全衛生パトロール、ライン監査 社員教育・健康診断 社外研修、渉外業務	安全祈願祭 安全衛生・環境管理協議会 安全衛生大会、職長会 健康診断

2019年度 安全衛生 論文、標語、ポスター入選作品

『論文』

区分	店	所属	氏名	題目
最優秀	西日本	建築工事部	荒畑 省吾	簡単な声掛けだからこそ
優秀	西日本	環境安全品質部	廣瀬 淳司	安全活動のゴールは
優良	東日本	建築工事部	大竹 晶	透明な安全衛生管理

『標語』

区分	店	所属	氏名	標語
最優秀	中日本	鈴中工業株式会社	岩瀬 仁	小さなヒヤリは危険の合図 今すぐ改善 ゼロ災職場
優秀	東日本	サンエス警備保障 株式会社	南 一之	過去の事例は 今の糧 無事故でいこう この令和
優良	東日本	土木工事部	坂井 邦寛	フルハーネス 一緒にまとう 安全意識

『ポスター』

区分	店	所属	氏名	タイトル
最優秀	西日本	建築部 建築グループ	日田 雄己	見馴れた景色に潜む危険 !! みんなで作ろう安全職場
優秀	東日本	土木工事部	伊藤 真瑚	思いやりの心で グーパー運動
優良	中日本	建築工事部	丹羽 千晶	みんなで唱えよう安全唱和! 簡易視力検査5m用

簡単な声掛けだからこそ

西日本支社 建築工事部 荒畑 省吾

私が施工管理の職に就いて間もない頃いろいろな上司からよく言われたのは、安全か安全でないかは素人でも判断できる。だから、危ないと思ったらすぐに行動すること。どうしても分からなかったら聞くこと。でした。確かに、普段の暮らしにおいても、外に出かけると危ないと思う場所があったり、危険に感じる瞬間や出来事もあったり、建設業に従事していなくともこの感覚は身につけているものだと思います。危ないと思ったら危なくて、特別な知識は必要なくて。だからこそ、安全管理には積極的に参加するように言われた気がします(実際には知識も知恵も多分に必要なのですが、未経験の新入社員に言ってもしょうがないので、こんな感じの言い回しだったように感じています)。ただ、大抵は簡単そうに見えるものが、その実とても難しいもので、工事現場の安全管理についてもそうだと思っています。

私は今年で現場監督(施工管理)八年目になります(実際にきちんと管理・監督できているかは、また別の話です)が、大きな災害を三件も経験しています。一つは飛来落下災害で、残りの二つは墜落災害です。冗談か、はたまた本気なのか、疫病神的なことを言われる時だってありました。三つの現場とも上司が違えば建てる建物も違い、規模も工期も現場配属の職員だって違います。安全管理について、それぞれの上司で考え方ややり方に差異は当然ありますが、誰も怠ってはいなかったと思います。それでも事故は起きました。

こんな経験をしないために、素人でもわかるような「危険」を無くすために私達現場管理をする者がやらなければならないことは何でしょうか。私が思う一番簡単にできて、尚且つ、一番大事だと思うことは、声をかけることだと思っています。実際に、私は現場で作業員に指示をしたり、すれ違ったりする時に、「気を付けて下さいね」と、できるだけ言うようにしています。書いている自分に向かって、「何を当たり前のことを偉そうに書いているんだ」とも思いましたが、これが存外難しいのです。気を付けていないと素通りしてしまったり、指示内容だけを伝達して終わってしまったりします。初めにも述べましたが、簡単そうに思えることが難しいのです。ですから、とにかく声を掛けよう意識し、考えながら現場を歩いています。高所では安全帯を使用することや雨が降れば滑りやすいなんてことは誰だってわかっている、「はいよー」と返事して下さる方もいれば、「わかっとなら」と不機嫌になる方と様々な反応をされますが、とりあえず言ってみます。声をかけることの延長線で、もう一つ気をつけていることがあります。それはどう伝えるかです。

例えば、高所などで安全帯未使用の作業員を見かけた時、以前は、高所での安全帯使用はルールだから、というニュアンスで注意をしていました。身を守ることが第一義であり、そのためにルールがあるにも関わらず、意識的には「ルール」ということが先行していたように思います。ただここ数年は、自分の身を守るため、自分のためや家族のために安全帯を使ってよ、ということをとにかく強調して言うようにしています。ただ、作業員は毎日いろいろな現場で同じような作業をしている為、慣れや大丈夫だろうと過信している方もおり、話半分でしか聞いてもらえていないと実感する時もあります。そんな時には、大きな災害を経験しているからこそ話せる、肌で感じた悲惨さや辛さを伝えるようにもしています。きちんと話して伝えれば案外すんなりと謝罪して直す方ばかりでした。

今後の現場でも、簡単な声かけだからこそ伝わるように努め、忘れずに実行していきたいと思う。また、作業員や社員にも災害の実体験を話し、重大災害の怖さや辛さを伝えていきたいと思う。



(最優秀賞 西日本支社 日田 雄己 社員)



(優秀賞 東日本支社 伊藤 真瑚 社員)



(優良賞 中日本支社 丹羽 千晶 社員)

2019年度 環境 論文、標語、ポスター入選作品

『論文』

区 分	店	所 属	氏 名	題 目
最優秀	中日本	環境安全品質部	堀田 重尚	建設業が担う社会環境
優秀	西日本	建築工事部	早川 裕也	建設リサイクルの推進
優良	中日本	土木工事部	森 久徳	「平成」から「令和」へ増える自然災害、 防災と災害に強い国づくり

『標語』

区 分	店	所 属	氏 名	標 語
最優秀	西日本	土木工事部	松尾 和也	今捨てたのは ゴミとモラルと 地球の未来
最優秀	東日本	株式会社茂木建設	茂木 正勝	省エネは 一人のできる エコ活動
優良	中日本	サンワ警備保障 株式会社	宮崎 昌敏	まず行動 出さない 捨てない 汚さない

『ポスター』

区 分	店	所 属	氏 名	タ イ ト ル
最優秀	中日本	土木工事部	井上 仁美 (井上 真 家族)	守ろう地球 未来を創るのは私たち
優秀	中日本	建築工事部	近藤 あかり	守ろう自然 拓こう明日を
優良	海 外	総務部 事務グループ	大槻 萌衣 (大槻 浩 家族)	小さな種から始まる大切な未来

建設業が担う社会環境

中日本支社 環境安全品質部 堀田 重尚

人間が作り出す「社会環境」というものには、目に見える「物質的な部分」と同時に、目には見えない「非物質的な部分」が存在します。工具や構造物のような物は「物質的な部分」にあたり、古代の石器にはじまり、道路や家屋、現代の高層ビルまでこれらはいずれも人間が自然生態系に存在する物質の一部を人工的に組み替えたものです。それに対して「非物質的な部分」は文化及び秩序を社会制度化したものでコミュニケーションもこの部分に含まれます。これまで建設業においては「物質的な部分」が追求されてきましたが、環境保全の意識が高まる現代社会においては「非物質的な部分」についても注目する必要があると考えます。環境基本法の第一章では、環境保全の理念として「持続可能な社会の構築」、「地球規模での環境保全」がうたわれています。建設業は、発注者から工事を受注し工期内に工事の完成を請け負いますが、受注から完成引き渡しまで、計画・仮囲い・伐採・仮設工事・基礎工事（杭打ち、山留め、掘削、地下躯体）・躯体（鉄骨、鉄筋、型枠、コンクリート、外装工事、内装工事）・設備関係・仮設材の撤去・外構工事等の一連の作業においては①公害の防止関係法（大気汚濁防止法、騒音・振動規制法等）、②廃棄物・リサイクル対策関係法（廃棄物処理法・建設リサイクル法・資源有効利用促進法等）、③地球環境保全関係法（フロン回収破壊法・地球温暖化対策促進法等）と多岐にわたる関係法令に関わっており、まさに環境保全の理念を目に見える形で担っていると言えます。一例を挙げれば、伐採時においては産業廃棄物としての適正な処理を、建設機械を使用する場合は大気汚染や騒音・振動の規制に適合したものを使用する。基礎工事では杭打ち施工時の汚泥処理や掘削中の濁水処理を適正に行い、躯体工事では残材の分別回収を行うことにより資源の有効利用・リサイクルを推進します。「物質的な部分」においては環境保全の理念に則った施工を行っていると言えます。

さてここで二つの問題提起を試みたいと思います。一つ目は、建設関係者にとっては規格基準（仕様書）が明記された構造物を施工するのは得意な分野ですが、基準の不明確なものに対しても対応・処理が求められる事態も多く発生するという点です。例えばコンクリートガラは撤去しなければならないがどの程度のガラは含まれても良いのか？ 騒音・振動規制法上問題がない数値であっても、近隣住民の中には気にする人がいる場合等。特に騒音・振動においては近隣住民が工事に反対している地域で施工する場合は、突発的に発生した騒音・振動に対しても苦情を申し立てられ、工事用車両に対しても通行規制を求められる場合が見受けられます。数値化された基準が明確になっていないもの、或いは、基準があっても、そこに個人差が関係してくるものが元となっているトラブルは増加してきていると考えます。労働災害のように厚生労働省が統計をとっていれば客観的にどのような災害に注意して作業を行わなければならないかは判断できます。しかし、環境問題及び環境トラブルを数値化し統計として公表がされていません。原発事故のような大きなものは別として客観的データがないのは基準が曖昧な点にあると思われれます。

二つ目の問題点は工事の施工場所が違えば環境関連基準が変わるという点です。各自治体は上乗せ基準を設けています。上乗せ基準とは、全国一律の環境関連基準または環境関連基準では、その地域の人の健康を保護し生活環境を保全することが十分でない認められるとき、全国一律の基準にかえて適用するものとして都道府県等が条例で定めたより厳しい環境関連基準をいいます。その地方の社会的・文化的秩序を守るため作られていて工事開始時に見落としがちです。

では上記二つの問題点に対しての解決策は何でしょうか？ 私は二点に共通した対策として、社会環境の「非物質的な部分」、文化及び秩序を共有・伝達する手段であるコミュニケーションが有効であると考えます。近年は工事着手前の地元住民説明会の場において、地元住民の納得が十分に得られているか否かの確認の無い状態で請負業者が施工に入ります。これでは工事内容及び施工業者に対して不信感をもたれる状況となるのは容易に想像できます。事前の上乗せ基準の確認は言うまでもなく、地域住民とのコミュニケーションを図り、工事着手前から工事中においても持続的かつ丁寧な近隣対策を行うことで、地域住民の信頼を得てその地域の実質的な環境基準やルールを知り、場合によっては、その許容範囲の若干の拡大を受け入れてもらえるような信頼関係が構築できれば、トラブルの発生も抑えられると考えます。

冒頭で述べたように、建設業が担う「社会環境」には目に見える部分と目に見えない部分があります。現代においては目に見える「物質的な部分」を高い精度を保って成し遂げることは当然であり、その上に目には見えない「非物質的な部分」を大切に、つまりその地域の文化や秩序を守りながら丁寧に工事を行うことが要求されています。総合建設業として、大日本土木株式会社が信用を獲得し続けるためには、この「非物質的な部分」に目を向けることが重要であると考えます。



(最優秀賞 中日本支社 井上 仁美 社員家族)

守ろう自然 拓こう明日を



(優秀賞 中日本支社 近藤 あかり 社員)

小さな種から始まる 大切な未来



(優良賞 海外支店 大槻 萌衣 社員家族)

本部だより

1. 合同安全祈願を開催

2019年11月8日(金)に岐阜・伊奈波神社におきまして、馬場社長、佐溝名誉会長、佐々木会長並びに会社幹部・安全協力会本部支部の役員が参列し、工事の安全祈願を厳かに執り行いました。

その後、岐阜市新庁舎及び岐阜本店を見学し、シェラトン都ホテル岐阜に場所を移して直会を開催しました。

馬場社長からは「日頃より協力会の皆様には、店社および作業所が一体となった労働災害防止活動に積極的に取り組んで頂いていることを深く感謝いたします。今後も皆様と共に、他社に負けない強い競争力を引き出し、安定した会社を目指していきます」とのお言葉をいただき、また、佐々木会長は「本日を期に、まずは年末年始の2ヶ月余を無事故・無災害で乗り切るよう店社の皆様と共に労働災害防止に努めていきます」と述べられました。



馬場社長



佐々木会長



岐阜新市庁舎見学



岐阜新市庁舎見学



岐阜本店見学



2. 本部安全衛生環境パトロールを実施

【大阪支部】

- 1) 実施日：令和1年11月18日（月）
- 2) 巡視作業所：吹田運動場改修
当作業所は、平成6年に竣工した吹田市立総合運動場の改修工事である。競技場の規格は日本陸連全天候舗装第4種公認陸上競技場、インフィールドは日本サッカー協会（JFA）公認球場となる。現在、インフィールドの人工芝舗装は完了し、トラックの全天候ウレタン舗装を施工中である。複数台のフォークリフトによる荷役運搬作業における挟まれ・接触災害防止を当月の重点施策に掲げている。
- 3) 巡視者：佐溝専務（名誉会長）、佐々木会長、山川副会長（大阪支部長）、岡山本社環境安全品質部長（本部事務局長）、小椋西日本土木工事部長、廣瀬グループ長（大阪支部事務局長）



【東京支部】

- 1) 実施日：令和2年1月17日（金）
- 2) 巡視作業所：朝霞大泉水道S
当作業所は、朝霞浄水場から上井草給水場までの約13kmの送水ルート第2工区3.4kmをシールド工法で施工する。シールド口径3300mm（管路口径2600mm）で、現在1.6kmを掘進中である。エレクターによるセグメント組み立てスペースは狭く、はさまれ・巻き込まれ災害防止に重点をおいている。また、シールドの立坑到達は、国内工事例の少ない高水圧対応工法（FPAS工法）で施工する。
- 3) 巡視者：佐溝専務（名誉会長）、佐々木会長、萩森東京副支部長（藤澤副会長代理）、岡山本社環境安全品質部長（本部事務局長）、平島東日本土木工事部長、亀井専門部長（東京支部事務局長）



3. 安全祈願

令和2年1月16日（木）に、明治神宮にて佐溝名誉会長、佐々木会長、藤澤副会長、森屋副会長、山川副会長が参加して、今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。



支部だより

東京支部

1. 安全祈願

令和2年1月24日（金）に、明治神宮にて藤澤支部長をはじめ東京支部役員と支社幹部、安全衛生委員が参加して今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。



2. 支部活動

令和2年2月7日（金）に、第2回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。藤澤支部長をはじめ東京支部役員で4班を編成し、建築2、土木2、計4作業所に対し実施しました。パトロール実施後、東京支店にて、三浦支社長、建築土木各副支社長、工事部長に参加して頂き、安全協力会からの指導・要望事項等を作業所毎に班長が報告し、今後の改善に努めて頂くことをお願い致しました。



1班：狛江複合施設



2班：新明石住宅



3班：新富下水立坑



4班：町田市公園

名古屋支部

1. 安全祈願

令和2年1月11日（土）猿田彦神社にて、森屋支部長をはじめ名古屋支部役員と中日本支社幹部、安全衛生委員が参加して今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。



2. 支部活動

令和元年12月12日（木）に合同安全衛生環境パトロールを実施しました。森屋支部長をはじめ名古屋支部役員を2班に編成し、土木（新大矢田トンネル工事）・建築（各務原市新市庁舎建設工事）の各作業所パトロールを実施し、各参加支部役員から活発な意見・指導をしていただきました。



新大矢田トンネル



各務原市新市庁舎

大阪支部

1. 安全祈願

令和2年1月22日（木）に、奈良県桜井市の大神神社（おおみわじんじゃ）にて、本社より佐溝専務、岡山部長をお招きし、小林支社長、支店幹部、安全衛生委員、安全協力会役員と合同により、今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。大神神社のご祭神は大物主大神（おおものぬしのおおかみ）さまで、国造りの神様として尊崇されています。



2. 支部活動

労働災害の撲滅を図る為、支店安全衛生環境パトロールに参加して、安全指導を行いました。協力会参加のパトロールは、延べ31作業所にて活発な活動を行いました。

2018年に新デザインに変更した白地に赤ラインの職長ヘルメットは、163個を支給し、職長だけでなく現場全体の安全意識の向上に役立っています。

今年度からは、作業所で体感できるVR事故体験安全教育を実施し、安全意識の向上に役立てて参りたいと思います。



東大阪配水場作業所



奈良国際芸術作業所

大日本土木株式会社と安全協力会は、「SDGs（エスディージーズ）」の17の目標に対する貢献と活動を考え、持続可能な社会のために取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※ 「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

■目標6 安全な水とトイレを世界中に

SDGs 目標6では、すべての人が安全にかつ十分な量の水を利用できる世の中を目指します。大日本土木(株)は、海外におけるODA（政府開発援助）事業等で、目標達成に貢献しています。



タジキスタン（給水施設）



エジプト（浄水場）



パプアニューギニア（下水処理場）



パレスチナ（下水処理場）